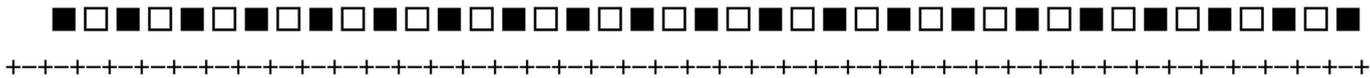




2006/2/10

《「産業保健おおいた」メルマガ版》

第 14 号



○ INDEX



- * TOPICS
- * 今月の Key Word【石綿の用途】
- * 労働衛生事例
- * 新着情報
- * 研修・セミナーのご案内(2/15~3/31)

○ TOPICS

◆労働政策審議会に対する今後の労働時間法制の在り方についての検討の諮問について/厚生労働省

経済社会の構造変化により、労働者の就業意識が変化し、働き方の多様化が進展していることから、労働時間制度全般に係る検討を行うことが必要となってきました…。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2006/02/s0208-5.html>

○ 今月の Key Word【石綿の用途】

石綿の用途別生産量を表に示してある。

(http://www.oita-sanpo.jp/portrait/ishiwata_1.gif)

建材関係の石綿セメント製品が78.1%と圧倒的に多く、工業製品関係の石綿製品が13.7%とこれに次いでいる。

昭和50年以前には耐火、結露防止、吸音などを目的として建築物への石綿の直接吹き付けも行われていたが、昭和50年の労働安全衛生法に基づく特定化学物質等障害予防規則により、石綿の吹き付けが原則として禁止され、現在では石綿の吹き付け作業は行われていない。

○ 労働衛生事例(一酸化炭素中毒 2事例)

《事例 1》

【業種(労働者数)】

建築工事業(2名)

【発生月】

2月

【被災者数】

中毒 5名

【発生状況】

給湯室等の内外装の解体工事を6名で行っていた際、1名がガソリンエンジン式カッターで床板タイルの切断を行っていたところ、作業員1名と周辺で作業をしていた1名が体調不良を訴え休憩した。そこで、送風機を使用し、20分後に作業を開始したところ、作業員が再び気分が悪くなったため、6名全員が検査を受けたところ、うち5名が一酸化炭素中毒と診断されたもの。

【発生原因等】

- ・換気不十分
- ・危険性, 有害性の認識不十分
- ・安全衛生教育未実施
- ・作業手順未作成

《事例 2》

【業種(労働者数)】

飲食店(10名)

【発生月】

2月

【被災者数】

中毒2名

【発生状況】

地下1階の焼肉等を提供する居酒屋店舗において、炭火用の炭を集積する保持炉で火のついた炭を保管していたが、同保持炉に設置された換気ダクトを約1時間にわたり停止させていたため、同保持炉内の炭より発生した一酸化炭素が店舗内に漏えいし、店舗内で営業準備を行っていた2名の労働者が一酸化炭素中毒となったもの。

【発生原因等】

- ・換気不十分
- ・危険性, 有害性の認識不足
- ・安全衛生教育未実施

.....
○ 新着情報
.....

☆ 新着雑誌 ☆

- 安全と健康／2月号 特集◎メンタルヘルス教育はこう進める
- 安全衛生のひろば／2月号 特集◎職場のコミュニケーションづくり
- へるすあっぷ21／No.256 特集◎血管の老化を防ぐ！

.....
○ 研修・セミナーのご案内(2/15～3/31)
.....

=== 衛生管理者等研修 ===

▼2月24日(金)

安全配慮義務とは何か ～判例から考える～ 【若林相談員】

▽3月2日(木)

作業環境測定器具の使い方 ～騒音計・照度計・検知管等～ 【田吹相談員】

▽3月9日(木)

脳心臓疾患における労災認定事例 【和田特別相談員】

=== カウンセリング研修 ===

▽3月14日(火)

事例検討 【佐用相談員・渡嘉敷 新典氏(シニア産業カウンセラー)】

=== 産業医研修 ===

▼2月17日(金)

職場における有害物管理 ～シックハウス症候群を中心に～ 【青野相談員】

◎いずれの研修もお申し込み受付中!!

ホームページからお申し込みいただけます。

<http://www.oita-sanpo.jp/mail/kenshu.cgi>



メールアドレスの変更、配信停止、ご意見・ご感想は、info@oita-sanpo.jp までお願いします。

皆様のご意見をお待ちいたしております。

・・・最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。・・・



発行:独立行政法人 労働者健康福祉機構

大分産業保健推進センター

<http://www.oita-sanpo.jp/>

